

国際サーカス村通信	VOL.15 NO02	2010年11月1日(月)
		文責 西田 敬一
編集NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net	

●総会のお知らせ

平成21年度の総会を下記の日程で開催しますので、同封の葉書でご出欠をお知らせください。

日時 2010年11月27日(土) AM10時～AM12時
 場所 NPO 法人国際サーカス村協会・東京事務局 (アフタークラウドカンパニー)
 議題 平成21年度事業報告・会計報告
 平成22年度事業計画
 平成22年度 理事及び監事選任

●サーカスといえば、放浪のイメージだが、、

サーカス学校10年目をお伝えする会報と会費のお願いのために郵便払込取扱票をお送りしたところ、ある80歳を過ぎた女性会員の方が、取扱票の通信欄に“ひとあばれ 期待します”とメッセージを書きこまれていました。一瞬どきりとし、胸の内を覗かれたような気がしました。

サーカスからの逃亡というイメージというか、観念のようなものが、ぼくの思考のなかに巣食っているというか、育っていて、いつの日にか、サーカスから“ケツ割り”するのではないかと思うのです。サーカスの世界に首をつっこみ、そこで戦い、敗れ、とはいえそこできつぱるまで戦いきれずに逃げ出す。そんな、なんとも情けない姿が浮かんで消えています。

10月中旬、キグレサーカスが倒産したというニュースが流れました。実は、昨年暮れ、宇都宮で公演をしていたキグレサーカスを訪ねた時に、経営状態が思わしくないと聞かされたので、遂にその時がきてしまったのかと思ったものの、悲しい気分が襲われていました。どうにかなるものではないし、なんの役にも立たないのですが、それでも、復活することはないのだろうか、夢を見てしまいます。

このキグレサーカスには、サーカス学校出身者は、かつては香山啓が、そして倒産時には高橋七奈がいました。七奈も倒産は覚悟していたようですが、実際に倒産になり、ショックを受けたようです。彼女が他のサーカスへ移るのは、まずは無理と思われまます。

サーカス学校を卒業したものの、活動の場がないというか、実際に公演しているサーカス団が、木下とポップしかない状況になってしまったので、その場所はますます狭くなってしまったこととなります。

この環境を変えることは、ぼくらの手にあまります。自分たちで、大テントをもったサーカス団を立ち上げることは、投資しなければならぬ金額を考えただけで、可能性のない、夢物語といえます。しかし、サーカス学校を卒業し、どうしてもサーカスを続けたいという願いを持ちつづけるものが増えてくれば、やはり自分たちの力でなんとかしなければならぬのです。だが、それがいかに困難なことか。それを考えると、ぼくもまた、自分の置かれている場所から逃げ出すしかないのかと思わざるをえません。

ところで、木下サーカスあるいはポップサーカス、そしてポリショイサーカスやシルク・ド

ウ・ソレイユといった、興行を行っている、ビジネスとしてのサーカスの世界以外に、他のサーカスの世界はないのだろうか。いま、ぼくはそのあたりのことを考えようとしています。つまり、ぼくらのというのは、サーカス学校が行っている公演、たとえば小学校や遊園地などで行っている公演をベースにした作品を作り、それを持って巡業するような活動はできないかなということです。

サーカスといえば、放浪というイメージを持っている方も多いと思いますが、そのイメージを生かし、新しいサーカスを誕生させることはできないかということです。

●今期の発表会でチャレンジ

今期の発表会は下記の通りです。

■日時 2010年12月22日(水) PM14:30～16:00

◆演目 サーカス学校作品『サーカスはリヤカーに乗って』

2010年12月23日(木) PM13:30～17:00

◆演目 クラウン劇『出口あり』PM13:30～14:40

作・出演 ふくろこうじ

(休憩10分)

◆演目 講談『おばばが語る』(仮題) PM14:50～15:15

作 西田 敬一 出演 壺岐 照美

◆演目 サーカス学校作品『サーカスはリヤカーに乗って』PM15:20～16:50

■場所 沢入国際サーカス学校体育館

■問合せ NPO法人国際サーカス村協会 ☎0277-70-5010

■入場料 無料(カンパ大歓迎)

- * 22日は、サーカス学校の作品のみの公演ですが、23日には、『勝ってたまるか剣振丸』に出演してくださった役者の壺岐照美さんとクラウンのふくろこうじさんの作品を公演しますので、ぜひお越しください。
- * 23日公演の後、サーカス資料館で、打上げ懇親会を行いますので、ぜひご参加ください(参加費2,000円)。宿泊ご希望の方は、国民宿舎サンレイク草木を予約しますので、早めにご連絡ください(一泊 朝食付き4,000円)。

実は、今回の発表会で公演予定の『サーカスはリヤカーに乗って』という作品は、今後のサーカス学校の公演活動の可能性を探りたいという意図のもとに作られています。この作品がそれなりのものというか、鑑賞に耐えるものでなくては、その先はないのですが、もしもそれなりの作品であれば、この作品をもって、公演活動を行いたいと考えています。公演活動のためには、当然ながら、公演できる場所を見つけだし、その場所の人々との交流を考えなくてはなりません。そこに、ぼくらの新しいサーカスの世界を作り出していくことができるかを追求したいと思っています。いささかオーバーな表現になりますが、見る人々がいて公演するぼくらがいるという、新しい関係を作っていけるかどうか。大テントはない、資金もない。それでい

て、そこにサーカスが息づいている。そんな活動ができれば、と思います。

もしもこうしたことが、今回の公演を通して、イメージできれば、あるいはなにか予感のようなものが生れてくれば、その道を少しずつであれ、掘削していきたいのです。そこに新しい文化活動としての意味も出てくるでしょうし、言い換えれば既存のサーカスが持っている文化価値に対して、ぼくらのサーカスの価値を対峙させることが可能になってくると思われるのです。

自分たちの作品をいかに解釈できるか。新しいものを提示できる解釈、ことばを発見できるか。それを可能にしてこそ、ぼくらは既存のサーカスに頼らず、自分たちのサーカスの生き方を見いだすことになるはずです。

●タンポポ保育園公演

10月22日（金）埼玉県本庄市にあるたんぽぽ保育園にて、サーカス学校生徒5名による約35分の公演を行いました。昨年も同園で公演の予定があったのですが、インフルエンザにより中止。1年越しの今回の公演は、園児や卒園生、ご両親、そして先生方の約100名が観ていただきました。

会場は広い教室で、高い天井には梁が渡してあり、2年前は卒業生の松本真理が空中ロープを披露したので、今年は空中リングをと会場に向かうと、梁と梁の間に予想していなかったワイヤーが。戸惑いましたが、保育園の倉庫にあったパイプを渡し、無事クリア。

今回の公演で私が特に注目したのは、スペースと高さがあれば保育園の教室でも空中芸ができるということと、生徒たちが作ったオープニングです。とある広場に芸人たちが自然と集まってくるようなイメージで、5名の生徒がそれぞれジャグリン

グをしたり柔軟したりしながら、目の前の子どもたちとアイコンタクトを取りながら流れるように回っているうちに、一人目のパフォーマンスへと移っていく。これを観てすぐに、ああ、剣振丸の稽古が生かされているなと感じました。園の先生からも「大人っぽい演出で、前回とはまた違った良さが出ていて新鮮だった」と好評でした。

また、距離感もちょうどよかったです。以前小学校の体育館のステージで公演を行ったときは、観客数約800人、広い体育館がいっぱいになるくらいで、後ろの方に座った子どもたちは遠くて見づらいから途中で飽きてしまい、おしゃべりしたり遊び始めたりで散漫していましたが、今回は平場で、まさに目の前で繰り広げられる技に2、3歳の子どもから小学生まで終始集中して観ており、一体感のある会場となりました。

公演が終わると、子どもたちが僕も私もとあちこちで側転したり転がったり跳んだり跳ねたり大会が始まりました。みんなが笑顔になり、元気になった公演でした。

たんぽぽ保育園のみなさん、ありがとうございました。（長屋あゆみ）



↑空中リングを披露する飯田有美子
↓オープニングの1シーン



●インドサーカス見聞録 No.1【あるマジシャン in デリー】

インドにはもともと興味があり一度は行ってみたいと思っていたのに加え、一昔前まで 300～400 ものサーカス団が存在していたのが、近年は 30～40 ほどに減ってしまったという噂を耳にしたのがきっかけで、これは自分の目で確かめてみねばと 10 月に 10 日間ほどの長い休暇をいただいて初めてのインドに行ってきました。渡印を決めた直後、おりによくデリー在住の知り合いの知り合いより『サーカスが町に戻ってくる』という見出しのインドの新聞記事 (The Economic Times、2010 年 8 月 17 日付) を教えてもらったところ、その内容が「インドで廃れつつあるサーカス文化を盛り上げるべく、南インドのある小さな町でサーカス・アカデミーを創設した」という、なんとも興味の引かれるものではありませんか。開校の時期をみると 2010 年 8 月 2 日。今回のスケジュールに加えなさいとでも言っているかのような格好の話題に、「インド・サーカスを訪ねて計画」がどんどん進んでいきました。ということで、インドで見聞きしてきたあれこれをこれから何号かに渡ってお伝えしますので、お付き合いいただければ幸いです。



↑宿泊したお寺のロビーから見えるステンドグラス

10 月 6 日 (水) 17:40 成田よりデリー (インディラ・ガンディー) 国際空港着。宿泊場所は町の中心部に近い『World Buddhist Center』という仏教寺院で、私の部屋は仏像の頭の上という、なんとも恐れ多い場所でした。デリーではちょうどコモンウェルス世界大会という旧英国連邦のスポーツ祭が開催されている真っ最中で、街中ではインフラ整備や立派なマンションなどの建設が進んでおり、目抜き通りでは路上生活者や牛の姿もあまり目にしませんでした。想像していたよりも静かなスタートでした。

翌日 7 日は、このお寺の地下にある開けたスペースを使わせていただき、ハンさんというインド人マジシャンに 1 時間ほどのショーを見せていただきました。

彼はカルカッタ (西ベンガル州の州都) 出身で、自分が生まれ育った地域にマジックのグル (Guru ; 導師、指導者) がおり、その人に師事したそうです。そんなハンさんが見せてくれたのは、鳩を出す、トランプ、数字当てなどクロスアップマジックが主で、「インディアン・ロープ」や

「マンゴーの木」と呼ばれる『まさにインド的』なナンバーはなかったのですが、面白い話を聞きました。それは、政府 (情報放送省 ; Ministry of Information and Broadcasting) によるパフォーマー登録制度です。審査に合格したパフォーマーやアーティストは政府を通して仕事を斡旋してもらえるシステムがあるそうです。小学校や養護学校などでの公演がほとんどだそうなのですが、その場合はただのマジックショーを行うのではなく、教育という意味合いを強く持たせ、「マジックを通して子どもたちに教育をする」ショーをするそうです。例えばエイズをテーマにした公演では、まず白い液体が満杯に入っているグラスを見せ、さっと布をかけた瞬間にグラスの中の液体が半分まで減っている、そしてもう一度布をかざすとグラスの中身は空になってしまうというマジックで、体内の免疫担当細胞が減っていく様子を表すといった具合です。子どもたちの教育にマジシャンを使うとは、ユーモアのある取り組みだと感じました。

また、登録パフォーマーには A/B/C とランクがあり、「観客とのコミュニケーションの取り方」などいくつかの点から審査されるそうで、ハンさ



↑客を使い、次々とマジックを繰り出すハンさん

んは7年かけてAランクに到達したとのこと。ただ、月に決められた給料を受け取っているわけではなく、仕事をした分だけの歩合制だそうです。つまり、まったく仕事がなかった月には収入ゼロということになります。Aランクパフォーマーともなると、(少なくともデリーに関しては)仕事はほぼ毎日あるそうで、実際にハンさんはつい最近までデリーの240余りの小学校を回ってきたところだと言っていました。

翌日飛行機で南へ飛び、『グレート・ボンベイ・サーカス (Great Bombay Circus)』を見学します。次号をお楽しみに。(長屋あゆみ)

最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

●鹿児島公演 2010年11月27日(土)~2011年1月31日(月)
休演日;毎週木曜日と12月22日(水)、31日(金)。但し、12月23日(木)は開演。
会場;鹿児島市 JT跡地 特設会場 電話;099-251-0450

★ポップサーカス

●和歌山公演 2010年11月3日(水・祝)~2010年12月12日(日)
休演日;11月9日、11月16日、11月24日、11月30日、12月7日。11月3日(祝・水)のみ13:10、15:50からの2回公演。
会場;和歌山マリーナシティ特設大テント会場(第1駐車場内) 電話;073-441-8002

★ベトナムサーカス

「ホーチミン・サーカス」より11名の精鋭アーティストが来日し、華やかな空中技と、極限まで鍛えられた肉体が織り成す迫力のサーカスエンターテイメントショーを披露しています。ベトナムの文化を感じさせる演出が加えられた『アジアの美技』をぜひお楽しみください。

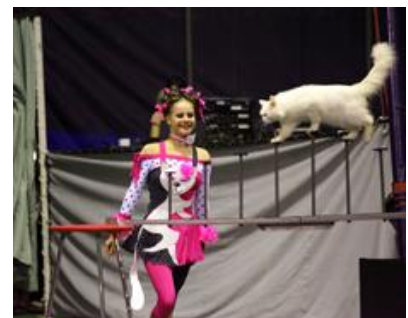
●2010年9月11日(土)~11月28日(日)
平日11:30、14:00/土日祝11:00、13:00、15:00(約40分)
場所;野外民族博物館リトルワールド 野外ホール
休演日;毎週火曜日。但し11月23日(祝)は公演、11月24日(水)は休演。
ベトナム舞踊体験教室も開催します(予約制)。ベトナム舞踊体験教室係 0568-62-5611



★モスクワ・イリュージョン・サーカス

ロシアのザ・グレート・モスクワ・ステイト・サーカス団からサーカスとイリュージョンが合体したエンターテイメントが、姫路セントラルパークの公演に向けて、今年もまた特別編成で来日しています。サーカスの本場ロシアが、全世界に誇るエンターテイメントをご堪能下さい。

●2010年9月11日(土)~11月23日(火・祝)
12:30、14:30 1日2回公演(約50分)
場所;姫路セントラルパーク遊園地内『風の城』
休演日;毎週水曜日。電話;姫路セントラルパーク 079-264-1611



★シアターレストラン『ルナ・レガーロ』～月からの贈り物～

一流シェフによる“月”をイメージした限定料理、世界最高峰のパフォーマンスと、

映像が織り成す新しいエンタテインメントの世界。

●大阪公演 2010年11月9日(火)～2011年1月26日(水)

日によって開演時間・休演日が異なりますので、詳しくはインフォメーションデスクにお問い合わせいただくか、公式HPをご覧ください。

会場;大阪・中之島特設会場

電話;大阪公演事務局 06-7732-8885

その他公演情報

★大道芸ワールドカップ in 静岡 2010

■2010年11月4日(木)～7日(日) ■静岡市駿府公演および市内各所

■お問い合わせ;大道芸ワールドカップ実行委員会事務局 Tel:054-205-9840

★あつぎ国際大道芸

■2010年11月6日(土)～7日(日) ■小田急線本厚木駅周辺

■お問い合わせ;厚木市商業にぎわい課 Tel:046-225-2840

★ダメじゃん小出ソロライブ 『負け犬の遠吠え』 Vol.23

■時事ネタコンに痛快トーク、今年一年日本を世界を総括。旬なニュースを一刀冗談。

■2010年11月26日(金)19:30、27日(土)14:00/18:00

■会場;銀座みゆき館劇場 ■お問い合わせ;オフィスダメじゃん Tel/Fax:03-3765-3663

★ふくろこうじソロ公演 ボクたちのいるところ

■クラウンふくろこうじ3年ぶり3回目のサイレントコメディ。こんなに大きくなったボクたちはこんなに大人になりました

■2010年11月25日(木)、26日(金) 開演 19:30(開場 19:00)

■会場;plan-B ■お問い合わせ;ふくろこうじ Fax:044-933-2624 Mail:info@fukurokouji.com

★昼下がりの冗事

■日曜日の昼下がりを数倍楽しくするエンターテインメント・ライブ!

■2010年11月28日(日)正午より(開場午前11時30分)

■会場;渋谷 O-nest ■電話;03-3403-0561(ACC)



★汎マイム工房 Presents2010

平成22年度文化庁芸術創造活動特別推進事業

フランス ソニコン・ダンス・カンパニー来日公演/汎マイム工房主催 フィジカルシアター『ラ・ベステオル』

■出演;壇上花子、イザベル・ルフェーブル、ソフィ・マルレイ ■2010年11月11、12、13、14日

■電話;汎マイム工房 03-3993-9418 ■会場;STADIO PAC

★toRmansion 「無礼講 Break O」

■2009年フール祭に出演した toRmansion の最新作!

■2011年1月22日(土) 14:00/19:00

1月23日(日) 13:00/17:00

■会場;座・高円寺2

■チケット発売日;2010年11月22日(月)10:00

■チケット取り扱い;03-3403-0561(ACC)、カンフェティ

★シルヴブレ「エトランゼとエトランゼール」

■シルヴブレ第7回公演。乞うご期待。

■2011年2月19日(土) 15:00/19:00

2月20日(日) 15:00

■会場;シアターX(両国)

■チケット発売日;2010年12月1日(水)

■チケット取り扱い;03-3403-0561(ACC)、カンフェティ